

◇意見交換用資料

平成12年8月30日に環境にやさしい買い物推進協議会（ネットワーク グリーンコンシューマーかがわ）を設立して以来、今年で6年目を迎えます。これまで各種の事業を実施することで、環境にやさしい消費者運動を推進しており、県民の生活習慣の中にも、ある程度浸透してきていると思われます。しかし、一方で、これまで同様、行政主導のまま事業展開を行うのではなく、今後は、新たな方向性を模索する必要があるのではないかと考えているところです。

そこで、今後の事業展開や協議会の展望について、協議会会員のみなさんにそれぞれの立場から御意見・御要望をいただきましたので、その内容を御紹介します。

事前にいただいた質問・意見・要望

1. 今後の事業展開について

【消費者団体・グループから】

○いかに一般消費者に対し意識づけするか、それに注力すればいいと思う。（西さぬき「地球村」）

○マイバック持参運動をさらにすすめ、条例化に向けた取り組みを行ってはどうか。（香川県生活協同組合連合会）

【事業者から】

○まずはレジ袋持参率の向上をめざしたいと考えているが、これだけに限らず例えば買い物に行くのなるべく車を使わないという生活スタイルも「環境にやさしい買い物」と言えるのではないかと。対象をもう少し広げて考えてみたい。（マルナカ）

【行政から】

○グリーンコンシューマーという言葉そのものがまだ知れ渡っていないように思う。どのような運動なのか、もっと周知すべきである。（善通寺市）

2. 協議会の展望について（運営主体・新規加入事業者・団体の方向など）

【消費者団体・グループから】

○消費者・事業者・行政の三者が一体となっている感覚がもっと必要だと思うので、例えばメーリングリストやHP掲示板など意見交流の場を作って連携を取っていただけたいと思う。（西さぬき「地球村」）

3. その他

【消費者団体・グループから】

○地域でのやさしい学習会が大切であると思う。悪質商法にあった人たちも隣人の通報で助かっている。机上の空論でなく実践活動が伴っていかなければならない。（東かがわ消費者友の会）

【事業者から】

○買い物袋持参デーには消費者団体の方がグループで来店され、マイバックを使っただけだと周囲の一般客への注目度も高いのではないかと。（マルナカ）